



Pre「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 Vol.2 令和2年12月4日

11月30日(月)に医療専攻を希望する1年生37名を対象に医療講演会を行いました。今回の講演会では、現在小出病院に勤務しておられる看護師の南雲 瑞季 様、薬剤師の佐々木 陸様(小出高校 OB)、臨床検査技師の大塚 彩菜様にご講演していただきました。講演の中で、その職種を志望したきっかけや、やりがい、仕事内容など実際に働いているからこそ聞ける貴重なお話を聞くことができました。

<p>看護師 南雲 瑞季 様</p> 	<p>【講演の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○看護師を志したきっかけ ○看護師になるには ○看護師の資格が活かせる場 ○看護師の仕事、一日の流れ ○看護師を志す生徒へ 
<p>薬剤師 佐々木 陸 様</p> 	<p>【講演の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○薬剤師になるまで ○小出病院に就職した理由 ○病院薬剤師とは ○病院以外の薬剤師の仕事 ○薬剤師になるには ○薬剤師になってみて ~よかったこと、不安なこと~ ○今後求められる役割
<p>臨床検査技師 大塚 彩菜 様</p> 	<p>【講演の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○臨床検査技師ってどんな仕事? ○臨床検査技師になるには ○検体検査と生理検査について ○臨床検査技師の魅力 ○やりがいと日課 

生徒の質問

・一番忙しい時期はいつ頃ですか。

—やはり、冬場。インフルエンザなどの感染症が増えてくる。1日50件の検査をすることもある。

・AIが新出してくる時代ですが、これだけは人の手でやりたいと思うことはありますか。

—薬の選択は機械でも良いが、患者さんに対面するのはやはり、人。患者さんとの信頼関係を築くことは機械にはできない。

・(看護師 南雲様への質問) 医療とは人の命と関わる大切な仕事だと思います。どのような心構えが必要ですか。

—「次がある」と思ってはいけない。「今日できなかったことは明日やろう」では、患者さんは明日にはもういないかもしれない。「今しかない」という気持ちで毎日勤務している。



・(看護師 南雲様への質問)「看護師の仕事」の説明のところで「リハビリ」とありましたが、どのような仕事内容ですか。

—看護師はリハビリをするのではなく、作業療法士や理学療法士が患者さんにリハビリを施し、その様子を聞き、看護に役立てるといふもの。

生徒の感想

・今回の講演で、たくさんの知識を得ることができてよかったです。どの職種も国家試験に合格し、豊富な知識を持っていらっしゃるのに、いざ現場で働くと「日々学ぶことがあり、毎日が新しい発見」と聞き、ゴールがないと思いました。忙しく、大変そうですが、だからこそやりがいを感じておられ、いきいきと輝いて見えました。

・今回の講演の中で看護師の南雲さんがおっしゃっていた「明日やろうと思っていても、明日、患者さんがいなくなってしまうかもしれない」という言葉が自分の心の中に残りました。その日患者さんにできることを全てやることにより患者さんが少しでも回復できるようにサポートすることが大切だと思いました。

・臨床検査技師は、いろいろな菌の検査や身体の検査をしている。臨床検査技師がいなかったらウィルスを見つけることや、新しい発見もできないと思うので、今の生活ができていなのは、臨床検査技師の方たちに仕事をいただいているからだと思った。

・医療用 AI は人手不足の解消にはなるが、今、職に就いている人やこれからなろうと目指している人はどうなってしまうのだろう。でも、今のコロナなど感染拡大しやすいものは、AIを活用し、人に感染させないこともできるので、利用価値は高いと思う。